



町長エッセイ



4月のある日、いつものように昼食のため駅通りに出て、ある食堂に入ると、昼どきのこと、70代後半と思われるハイキング姿の男性と同席しました。

竹沢の官ノ倉山からの帰路で、なんと20年以上も前から毎年春に欠かさず登っているとのことでした。

「胸にペースメーカーが入っているので、あと何回、いや何年ここ小川に来ることができるかなあ」と言いながら、ビールを美味しそうに飲み干しました。

さらに冗談話では、「官ノ倉の山頂でお迎えがきても悔いはないよ。そのくらい、この町の桜と緑の景色は素晴ら

しい」と小川を大変気に入ってくれている様子が伝わってきました。

石尊様を祀る官ノ倉山頂からの眺めは、竹沢地区はもとより、角山地区、みどりが丘団地を眼下に見ることができ、都内からの人にとって圧巻の景観であろうと思います。

「来年も元気でまた小川に来てください」と励まして店を後にしました。